

YMCA地球市民育成プロジェクト

Global Citizenship Project 2018

2018年度研修生募集

申込締切/2018年6月11日(月)





過去の研修生所属大学・学校

国公立 (15) 北海道大学、岩手大学、富山大学、宇都宮大学、群馬大学、横浜市立大学、一橋大学、山梨大学、京都大学、大阪大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、北九州市立大学、熊本大学

私立 (40) 東北学院大学、宮城学院女子大学、独協大学、神田外国語大学、津田塾大学、聖路加国際大学、白百合女子大学、聖心女子大学、明治大学、東京農業大学、上智大学、上智大学短期大学部、中央大学、立教大学、大妻女子大学、清泉女子大学、亜細亜大学、フェリス学院大学、金沢星稜大学、金城学院大学、中京大学、名城大学、京都精華大学、京都外国語大学、京都女子大学、京都産業大学、大阪女学院大学、関西外国語大学、関西学院大学、甲南大学、近畿大学、吉備国際大学、神戸女学院大学、神戸松蔭女子学院大学、同志社大学、広島女学院大学、広島文化学園大学、熊本学園大学、長崎純心大学、九州ルーテル学院大学

専門学校 (5) 北海道 YMCA 英語・スポーツ専門学校、東京 YMCA にほんご学院、YMCA 健康福祉専門学校 (横浜 YMCA)、和歌山 YMCA 国際福祉専門学校、熊本 YMCA 学院

YMCA地球市民育成プロジェクトとは

世界や地域の課題に取り組むことのできる

ユース (=地球市民 / Global Citizen) を育てるプロジェクトです。

1年間を通じたカリキュラムで、

グローバル時代を生きる

若者たちの分析力、対話力、

行動力を引き出します。



YMCA
地球市民育成
プロジェクト
参加

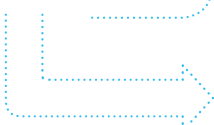
YMCA
地球市民
認証

地域・世界での
幅広い活躍

年間カリキュラム修了者には、「YMCA地球市民」の認証を授与します。

認証後、希望者には、YMCAのグローバルなネットワークを活用し、世界各地での研修プログラムや国際会議、国際機関やNGOでのインターンシップ等の機会が提供されます。

2009年より
スタートした
このプロジェクトは、



みつける

私たちの住む社会には様々な課題があります。環境問題、貧困、紛争、広がる格差…これら国境を越えて起こる地球規模課題=Global Issuesは、一人ひとりの様々な機会、将来への希望、時にいのちを奪っています。

その現実をどう感じますか？

そのような現実を変えたいと思ったとき、どんな一歩をふみだしますか？

つながる

200を超える国内の拠点、世界119の国と地域に広がるYMCAのグローバルなネットワークを活用し、より良い社会を共に創る力を身につけます。

よくなっていく

一年間のカリキュラムを通じて、先駆的な取り組みを学び、話し合いを重ねながら、社会に働きかける「課題解決のプロセス」を実践していきます。

中高生を対象としたプログラムもあります

English Camp for Global Leadership

YMCAでは中学2年～高校3年生を対象に、英語によるコミュニケーションの楽しさを知ること、そして積極的に世界に目を向け、自ら考え行動するためのプログラムを行っています。(2018年12月26日～29日、定員40名、YMCA 東山荘)



2017年度認証式

対象

- おおむね18歳～30歳のもの。留学生可。YMCAで活動経験がある、または関心があるもの。
- 自らの変化を起こす担い手になるために、問題意識をもち、他者との協力や対話を重んじる問題解決のプロセスに賛同するもの。
- 夏期研修に全日程参加でき*1、英語でのコミュニケーション*2に積極的に取り組むもの。
- アジア、世界の多様な文化・社会・経済的背景への理解に努めるもの。
- 所属する大学や専門学校の指導教員、勤務先、またはYMCAの推薦が得られるもの。

*1 部分参加はご遠慮いただいています。

*2 夏期研修は原則英語で進められます。(一部、日本語で理解を深める時間を設けています)
TOEIC550点以上を目安としています。不安のある方は事務局へご相談ください。

募集人数 | 30名 書類選考があります

受講費 | 140,000円 (税込)* **ただし個人負担は4万円です。**

*YMCAユースファンドより一人10万円の支援がなされます。(なお、支援を希望しない場合は、お申し出ください。)また、研修の途中で自己都合でのキャンセルや、書類・レポートが期日通りに提出されない場合などは、支援の対象になりません。ご了承ください。

*年間を通してのレポート作成及びアクションプラン実行のための助言指導、夏期研修宿泊食費、認証のための諸費用が含まれています。

*集合研修・認証式につきましては、遠隔地からの参加者については格安旅費実費の半額を上限に旅費補助を行います。

申込締切 | 2018年6月11日(月) 申込書必着



夏期研修スケジュール

於：国際青少年センター YMCA 東山荘 (静岡県御殿場市)
URL : www.ymcajapan.org/tozanso/

8月28日(火) | ●開会式 ●オリエンテーション ●グループワーク

8月29日(水) | ●ワークショップI ~世界がもし100人の村だったら~
●集中インプットI ~フィールドワーク学習会~
●ウェルカム・パーティー

8月30日(木) | ●フィールドワーク(終日)
関東圏で活動するNGOや社会課題の現場を訪問。

8月31日(金) | ●フィールドワークふりかえり
●ワークショップII ~社会課題の構造を学び考える~

9月 1日(土) | ●ワークショップIII ~メディア・リテラシー~
●集中インプットII ~アクションプラン~
●富士山麓ネイチャープログラム、フリータイム

9月 2日(日) | ●アクションプラン・行動宣言
●カルチャーナイト

9月 3日(月) | ●閉会式

少人数グループ(6~7名)です。おすすめです。

YMCAはキリスト教の精神を大切に活動しています。期間中、一日の始まりに「朝の集い」を礼拝形式で行います。スケジュールは若干変更になることがあります。



本プロジェクトの特色

サポート体制

- “Think Globally, Act Locally.”=地球的視座に立った分析力、地域で実践する行動力を養うため、YMCAの国内外に広がるネットワークと伝統ある青少年育成の手法を活かした年間カリキュラムです。
- 特に、ユースの発想力・発言力を活かし、地域や社会に根ざした取り組みをサポートします。
- 年間の学習カリキュラムのため、大学での単位認定にも対応しています。所属の学部・キャリアセンターに確認の上、事務局までご相談ください。

魅力あるネットワークに触れる

- 開発教育、人道支援、まちづくり、国際貢献など大学やNGOで活躍するリソースパーソンが年間を通して、研修生一人ひとりの問題意識を検証し、アクションプラン・行動宣言への助言指導を行います。
- 夏期研修(宿泊型)では、アジアの大学生に加え、平和構築や教育支援の最前線で働くスタッフと共に学び、生活をします。生涯にわたるネットワークの基礎を築きます。

世界や地域に働きかける人に

- 年間プロジェクト終了後も、YMCAの国際会議、スタディーツアーや各種研修、インターン等の様々な機会をサポートします。
- これまでに約200名の認証生を輩出しています。海外留学・インターンシップ・大学院進学、教育機関・NGO等への就職など、幅広い活躍をしています。公的機関、企業からもグローバル人材への注目が集まっています。

YMCA地球市民育成プロジェクトに参加して

澁谷明佳さん

熊本YMCA国際ユースボランティア
2017年度YMCA地球市民認証生



私はこのプロジェクトに参加し、大切な仲間と出会い、刺激し合いながら自分自身の視野を広げ大きく成長することができました。もともと「貧困」というテーマに関心があり、貧困といえば発展途上国の抱える問題であると考え、それらの国が抱える問題ばかりに目がいていました。しかしこのプロジェクトに参加したことで、実は日本も深刻な貧困状態に陥っていることを知り日本の子どもの貧困に焦点を当ててアクションを起こすことにしました。

夏期研修後からプロジェクトが終了した今も、熊本にある児童養護施設で活動しています。今年の3月には、児童養護施設を舞台にしたドキュメンタリー映画の上映会を開催し、目標人数を上回る57名の方に来て頂きました。

このプロジェクトを通し、たとえ世界問題という大きな問題であっても自分にできることは必ずあり行動することが大切であると学びました。夏期研修では、英語に苦戦し落ち込むこともありましたが、それ以上に同期のメンバーと自分の持っていない考え方などを共有しあいながら時には思いっきり騒ぎ笑い、時には一緒に悩んで高め合うことができて本当に参加して良かったと思います。

これからも児童養護施設での活動を続けながら、後輩たちにも日本の子どもに対する自分の思いを引き継ぎ一緒に活動してくれる仲間を増やしていきたいです。

孫 宇傑さん

東京YMCAにほんご学院卒業
2017年度YMCA地球市民認証生



私は中国からの留学生です。異なる地域のみなさんと一緒に英語で環境・貧困・国際協力などの身近な課題に対して問題意識を持ち、その周辺の理解や学びを深めた上で、課題解決の能力を身につけられることを期待し、このプロジェクトに参加しました。私は基本的にはマイナス思考で、いつも自分にはないものばかりに目が行き、そのことを嘆いていました。しかし、このプロジェクトに参加してから、自分が持っているもの、できることに意識を切り替えられるようになり、不思議と自信が湧いてきました。見方を変えられたことが、自分の自信になりました。

このプロジェクトで学んだことの一つに、多様な背景を持つ人たちとのコミュニケーションで大切なことは「ぶつかる」ことだということがあります。ぶつかるというと、なんだか怖い気持ちがありますがそうではなくて、コミュニケーションの際に生じる「ずれ」を見出し、認め合うことが重要だということです。またリーダーシップとはリーダーだけのものではなく、一人ひとりがリーダーシップを発揮することにより、社会全体の活性化につながることも学びました。

プロジェクトを通じて様々な考え方や価値観に出会うことができました。たくさんの方とのコミュニケーションを通して、自分が物事に対する問題意識と問題解決の能力を育成することができるようになりました。これからも前向きに活動を続けていきたいと考えています。

YMCA地球市民育成プロジェクトを推薦します!

リソースパーソンより●

世界とつながり、
様々な問題を考える
きっかけを



田中治彦さん

上智大学総合人間科学部 教授

インターネットの普及やグローバルな経済活動のおかげで私たちは好むと好まざるに関わらず「世界」とつながって生きています。例えば、毎日のように手にしているケータイの部品は80以上の国や地域から来ていますし、あるいは欧州のユーロ危機が日本の若者の就職にすぐに影響するというのが今日の世界の現状です。

2011年3月11日の東日本大震災以降、持続可能な生き方とはどのようなものか、本当の豊かさとは何か、これまで以上に問われるようになりました。震災復興や原発事故の収束が遅れる一方で、出来事に対する風化現象も出てきました。3.11後の世界にあって私たちはどのようにアクションしたらよいのか考えさせられます。

このプロジェクトは、グローバル化した世界と私たちが何らかの関わりをもつ糸口を見つけて、世界の問題を自分の足許から少しでも解決できる力を身につけることを目的としています。また、YMCAがこれまで行ってきた青少年活動、地域福祉、国際交流などの経験を基に作られています。若者自身が無理なく「自分」と「世界」をつなげて考え、アジアに友人をつくり、共に励ましあいながら、それぞれの地域や団体が今後の活動を展開できることが期待されています。

ファシリテーターより●

多様な仲間の声に、
新しい視点が
つまっている



中村絵乃さん

認定NPO法人 開発教育協会/DEAR 事務局長

プロジェクトがスタートした時から、ファシリテーターとして関わっています。一週間の生活を共にする中で、目覚ましく成長する若者たちの感受性や行動力に感動させられています。

地球市民育成プロジェクトは、環境・開発・人権・平和などの地球的諸課題に対して、その背景を考え、自分の生活とのつながりに気づき、身近なことから問題解決に関わる力をつけることをねらいとしています。

プロジェクトでは、日本国内やアジアからの研修生と、課題や問題意識を共有し、ワークショップやフィールドワーク、話し合いを通して、理解を深めていきます。多様な意見を持った仲間と議論し、学んだことを分かちあうことで、新たな視点や方向性も見えてきます。アクションプランをつくり、研修後、各現場で実践をしていくことをめざします。

プロジェクトはあくまでも始まりです。これまでもたくさんの研修生が自分にとっての「地球市民」を考え、問題解決に向けて行動を始めています。これからの社会をつくり、変えていくのは、みなさんです。一緒に考え、学び、行動しましょう!

浅羽 俊一郎	国連UNHCR (国連難民高等弁務官事務所・日本委員会) 協会 元職員 (東京YMCA会員)
秋元 みどり	青山学院大学ボランティアセンター (日本YMCA同盟協力者)
岩坂 二規	関西学院大学教育学部 教員 (学生YMCA顧問・日本YMCA同盟委員・大阪YMCA会員)
岩谷 滋雄	リングハウス教育研究所 理事長・元駐オーストリア大使
大森 佐和	国際基督教大学教養学部 教員 (学生YMCA会員・日本YMCA同盟委員)
上條 直美	上智大学グローバルコンサーン研究所 (YMCA農村青年塾委員)
澤村 雅史	広島女学院大学人文学部・人間生活学部共通教育部門 教員 (広島YMCAチャプレン)
田中 治彦	上智大学総合人間科学部 教員、開発教育協会 / DEAR 理事
中村 絵乃	認定NPO法人 開発教育協会 / DEAR 事務局長
長尾 ひろみ	アジア・太平洋YMCA同盟 副会長 (日本YMCA同盟理事)
名古屋 恒彦	植草学園大学発達教育学部 教員 (盛岡YMCA会員)
廣瀬 頼子	奈良教育大学学校教育講座 教員 (神戸YMCA委員)
真崎 克彦	甲南大学マネジメント創造学部 教員 (日本YMCA同盟協力者)
松井 ケティ	清泉女子大学文学部地球市民学科 教員 (日本YMCA同盟協力者)
村瀬 義史	関西学院大学総合政策学部 教員 (日本YMCA同盟学生部委員)
山本 俊正	関西学院大学商学部 教員 (日本YMCA同盟委員)
湯本 浩之	宇都宮大学留学生・国際交流センター 教員、開発教育協会 / DEAR 副代表理事



YMCAについて

YMCAは世界119の国と地域で、およそ5800万人の会員を有するNGO(非営利組織)です。日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせたプログラムを提供しています。

YMCAブランド

日本のYMCAは1880年に東京で始まり、この間、多様な分野でパイオニアとなる働きを全国各地で展開してきました。未来に視線をあげ、YMCAがこれからも必要とされ、多くの方々に選ばれる存在となるために、私たちは今、決意をもってYMCAブランドコンセプトを取り決め、その旗印として新しいロゴ・スローガンを掲げます。新しいロゴとスローガンは2017年10月から社会に向けて発信をしています。

全国各地のYMCA

日本のYMCAは、全国35都市、200を超える拠点で14万人が参加し、自らの学びや健康、社会課題の解決のためのさまざまな活動を行っています。

世界のYMCA

1844年6月に英国・ロンドンで誕生したYMCA。現在、世界119の国と地域に5800万人のメンバーを抱え、ユース・エンパワメントを中心にさまざまな活動を行っています。

協力 認定NPO法人 開発教育協会 / DEAR
プロジェクト企画・準備、夏期研修についてご協力をいただいています。

支援 YMCAユースファンド
ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区

主催 公益財団法人 日本YMCA同盟
URL : <http://www.ymcajapan.org/>

事務局 日本YMCA研究所
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052国際青少年センター YMCA東山荘
Tel:0550-83-1133 Fax:0550-83-1138
E-mail : gcp@japanymca.org